

令和5年3月吉日

学生ならびに保護者各位

三重看護専門学校  
学校長 今野 信太郎  
〔公印略〕

### 学生による授業・臨地実習に関する評価について

平素は、本校の教育のために何かとご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

見出しの通り、学生のみなさんのご協力を得て、令和4年度の教育評価を行いましたので、ご報告します。

#### 1. 目的

- (1) 学生による授業・臨地実習に関する講師（教員）の評価を実施し、その結果を基に講師（教員）が今後の授業の工夫や改善、シラバスの充実など教育の質の向上を図る。
- (2) 学生が授業・臨地実習に関する評価を記入することにより、自身の学習姿勢を振り返り、主体的な授業参加態度を養う。

#### 2. 実施方法

- (1) 授業については、複数回の講義がある科目を対象に実施している。  
実習については、2週間以上の病院の実習を対象にしている。
- (2) 評価内容は、学生自身の評価と学生からみた講師（教員）評価を項目化し、5段階評価とする。自由記載を設け、記載者名は無記名とする。
- (3) 評価は、最後の授業時、または実習終了時に5分程度時間をとって記入する。
- (4) 評価表は学生のスマートフォンに配信し、学生が入力する。  
集計は第3者（事務）が、集計し結果を出す。
- (5) 評価結果を担当講師（教員）に1か月以内に通知する。  
年度末には、全体結果をまとめ、自己点検・評価委員会で報告・検討する。
- (6) 年度末に学生・保護者に結果を報告する。

#### 3. 令和4年度授業評価結果

- (1) 対象となる科目：70科目 講師（教員）数：53名
- (2) 回収率：88%
- (3) 授業評価結果（資料1参照）
- (4) 実習評価結果（資料2参照）
- (5) 授業・実習に対する評価表（資料3参照）

#### 4. 総評

学生の授業に対する自己評価は、予習・復習など意欲的に学習に取り組むことは弱いですが、授業への出席状況は良く、授業を通して新しい知識や考え方の習得はできていると自己評価しています。しかし、成績を加味して考察すると、1年生は終講試験の成績では、再試験の科目数や1科目に対しての再試験対象者、再履修者が年々増加傾向にあり、知識の習得ができたという評価が高い割に十分な学修に至っていません。学習量が多く進度も早いことに対応しきれないことが推測されます。そのため、学習への動機づけや日々の復習方法や時間、試験に向けての学習計画など細かく指導していくことが必要と考えます。

2年生は、1年生と同様で出席状況は良いが、予習・復習が余りできていません。授業は受け身の傾向ではありますが、新しい知識の習得があると自覚し成績も伴っています。実習もあり、更に持っている知識を自ら深く広げていく学習者になっていくことが求められます。

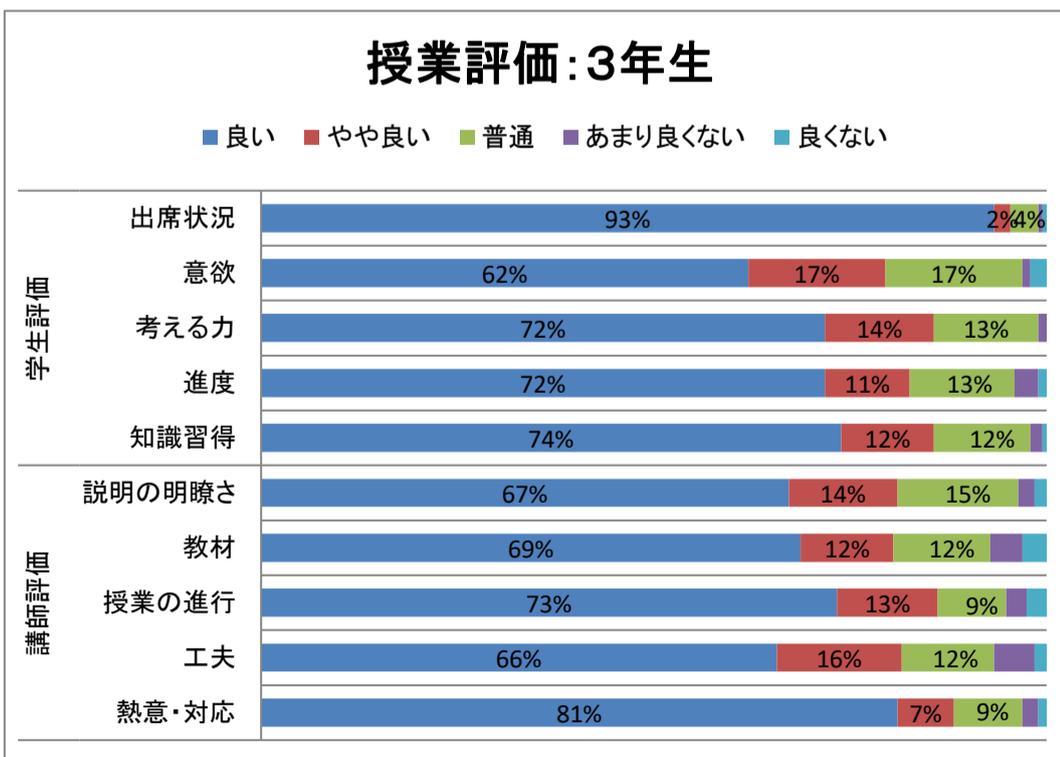
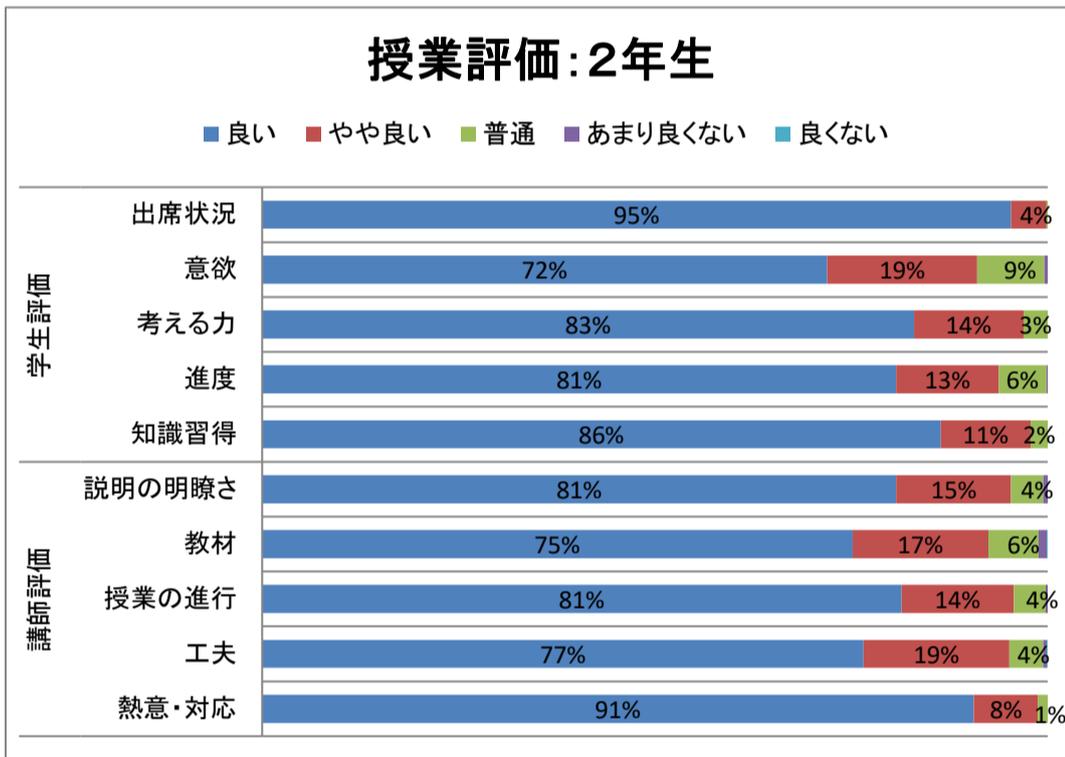
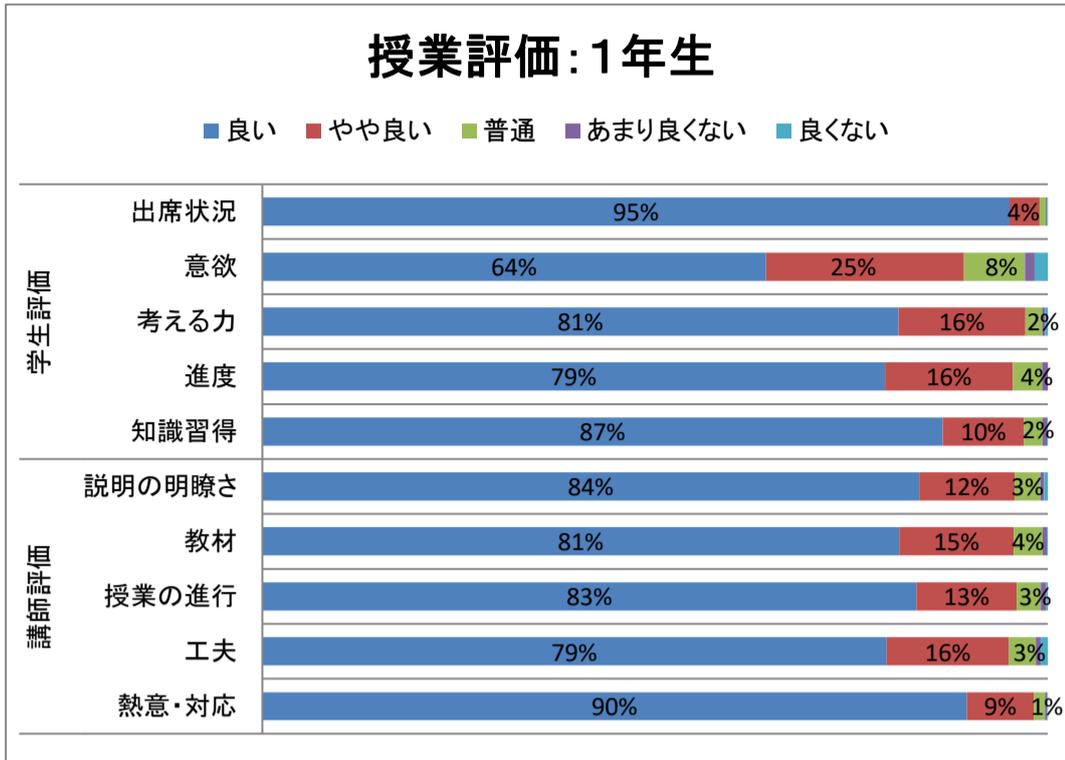
学生による外部講師・専任教員に対する授業評価は、どの学年も自己評価より高い傾向があります。よって、講義の内容や方法としてはおおむね良いと考えられます。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教員はオンライン講義における教育技法の習熟に努めてきました。学生の考える力を伸ばすために、今後もICT教育や参加型の討議、体験、調べ学習などを更に取り入れながら、反転授業（授業の前後に・復習の課題を提示する）の導入を考えています。

実習に対する学生の自己評価は、講義の知識と関連付けて学習することや、自ら考え疑問をもって積極的に学ぶことに課題があるという結果になっています。臨地では知識と関連付けて自ら思考し判断していくことが求められますので、教員は臨地の看護場面で、講義内容を想起させる発問や確認をし、講義資料や教科書に戻りながら学習するよう示唆することが大切であると考えます。

教員の指導に対する評価では、全体的に高い評価となっていますが、行動計画の指導や指導方法の工夫、学生の精神的な支えという点については、更に充実できるよう努力が必要です。臨床現場との調整や、学生の考えを尊重し支えていくことに注力し、良い学習環境と方法の提供に努めていきます。

# 令和4(2022)年度 授業評価グラフ

資料1



# 令和4年度 臨地実習評価グラフ

資料2

